

ハタヤ ガス用 オートリール

AUTOMATIC GAS HOSE REEL

ガスホースリール/NGLM型 NGMM型

取扱説明書

この度は、ガス用オートリールをお買い上げ頂き誠に有り難うございました。本製品のご使用には必ず本説明書をお読み頂き正しくお使いください。



ガス専用

逆火防止器付

生産物賠償責任保険付

溶接・溶断に欠かせない酸素・アセチレンガス専用の自動巻ガスホースリールです。インレットは片側に集中配置しホースがすっきりまとまります。

【安全上のご注意】

重要 本説明書は製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを以下の通り表示しております。表示の内容をよくご理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

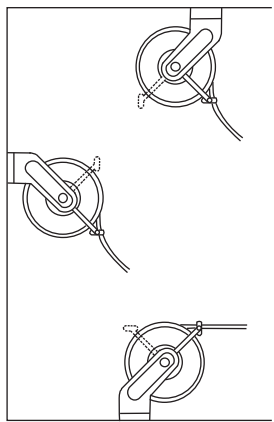
注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この記号は、禁止行為であることを示しています。

この記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。

【リールの設置位置及び取付方向・取付方法】



① 地面や壁面または天井の取り付けたいところにボルトでしっかりと固定してください。(下記取付寸法図参照) コンクリートの場合はアンカーボルトを使用してください。

※引き出し方向は注文時の位置にセットされています。ガイドの位置を変更すると不具合が生じます。**変更される際は必ずご相談ください。**

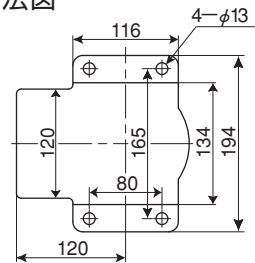
② ストッパー玉の位置調整は、ピスを緩めて必要な位置に移動させます。位置が決まったらピスを締めてください。

! ストッパー玉の位置調整は、必ず安全ロック、ストッパーを掛けて行ってください。

③ 一次側のホースを取り付ける際は、一次側ホース接続口(上記イラスト参照)にM16P1.5(酸素側)右ネジ(アセチレン側)左ネジのジョイントをスパナ等で締め付けてください。

! ● 本体は重量物ですので落下しないようしっかりとした面に取付けてください。
● リールの取付けは確実に固定してください。(M12ボルト4本使用)
※ 高所に取付ける場合は落下防止ワイヤーのご使用をおすすめします。

●取付寸法図

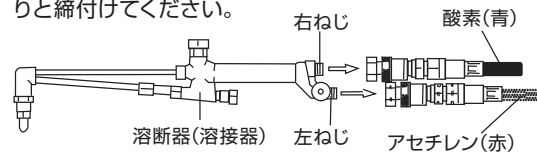


巻取り力について

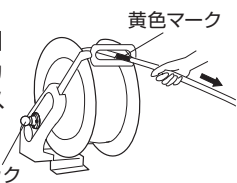
本製品は人の補助を前提として巻き取るように設計されていますので使用方法や3mを超える高所などに取り付ける場合は巻き取らない場合があります。自動設備に設置する場合や高所に取り付けされる場合は弊社までご相談ください。

【使用方法】

① リールのホース先端にクイックジョイントの雌雄が一式セットされています。使用する溶接器にジョイント金具のナットを酸素側は右へ、アセチレン側は左へしっかりと締付けてください。



② ホースを必要な分だけ引き出してください。カチッカチツと音のするところでストッパーが掛かります。*



! ● 黄色マーク以上は引き出さない。
● 急な巻き込みを防ぐため、使用前に安全ロックをかけてください。

③ 使用後はストッパーの音のしないところまで少し引き出し、戻せば自動的に巻き取ります。*

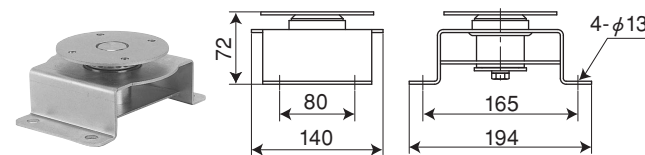
! 必ずホースを持って補助すること。

※Fタイプ(ストッパーフリータイプ)には該当しません。

【オプションパーツ】

用途に応じて別途お買い求めください。

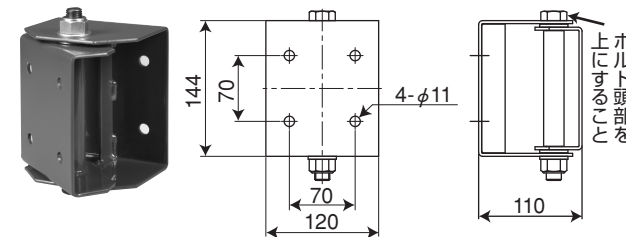
●床設置型回転台 型式 NTR-1 (標準価格 ¥13,800)



! 床設置専用の回転台ですので、壁や天井への取付けは絶対にしないでください。

●壁取付型首振台 型式 NLR-2 (標準価格 ¥13,800)

※壁取付専用の首振台です。左右120°の首振りが可能です。















製品に異常が感じられる場合はお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

発売元 **株式会社ハタヤリミテッド** 製造元 **株式会社 畑屋製作所**








顧客サービスデスク フリーダイヤル 0120-686-888 ホームページ <http://www.hataya.jp>

ガス溶接、切断作業に関する取扱指針等に従って安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

警告

- 
ホースが劣化または損傷していたり、ガス漏れの疑いがある状態で使用しない。
爆発・火災・ガス漏れ・けがの原因になります。
- 
当製品に表示されたガス(酸素・アセチレン)以外使用しない。
爆発・火災・けがの原因になります。
- 
使用圧力は酸素 **1MPa・アセチレン **0.2MPa** を超えて使用しない。**
爆発・火災・けがの原因になります。
- 
本製品は屋内用です。直接水のかかる場所では使用しない。
故障の原因になります。
- 
ホースの最小曲げ半径はホースの内径の6倍以上で使用し、ねじれ、折れた状態で使用しない。
故障・ガス漏れの原因になります。
- 
当社規格部品以外使用しない。
故障・ガス漏れの原因になります。
- 
周囲温度は-10℃～40℃の範囲で通気性のよい場所で使用すること。
故障の原因になります。
- 
高温の場所、着火源の近くで使用しない。
爆発・火災・けがの原因になります。
- 
作業時以外はガスを元栓より閉じて保管すること。
爆発・火災・ガス漏れの原因になります。
- 
本体及びゴムホースに火花がかからないようにすること。
爆発・火災・ガス漏れの原因になります。
- 
粉塵・砂埃・切削屑・溶接火花等がかかる所及び可燃物の近くで使用しない。
爆発・火災・ガス漏れの原因になります。
- 
分解・改造しない。
(ゼンマイが内蔵されているので大変危険です。)
けが・ガス漏れ・火災の原因になります。

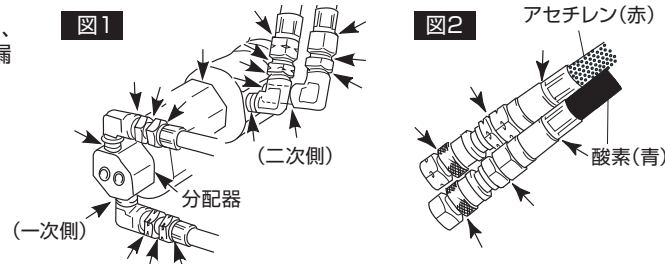
注意

- 
巻き取り時はホースを必ず持ち収納の補助をすること。絶対に手放さない。
けが・機器の破損の原因になります。
- 
巻き取り時はガイドローラー部に手を入れない。
(指などが挟まれ大変危険です。)
けが・故障の原因になります。
- 
電線は黄色の引き止めマーク以上無理に引き出さない。
故障の原因になります。
- 
ホースに破れ、腫れ、キズがついたまま使わない。
故障・ガス漏れの原因になります。
- 
ホースを無理に引っ張らない! 踏まない! 重量物をのせない!
故障・ガス漏れの原因になります。
- 
電線を油脂、アルコール、溶剤、薬品等に触れさせない。
浸食され、ガス漏れの原因になります。
- 
落としたり、強い衝撃を与えない。
故障の原因になります。

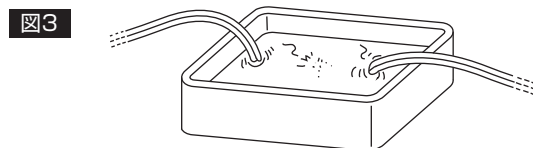
ご使用になる前に必ず下記点検を行ってください。

- 
ホースや各接続部のガス漏れの点検(毎始業時)、Oリングの交換(年1回以上)を下記内容に基づいて行うこと。

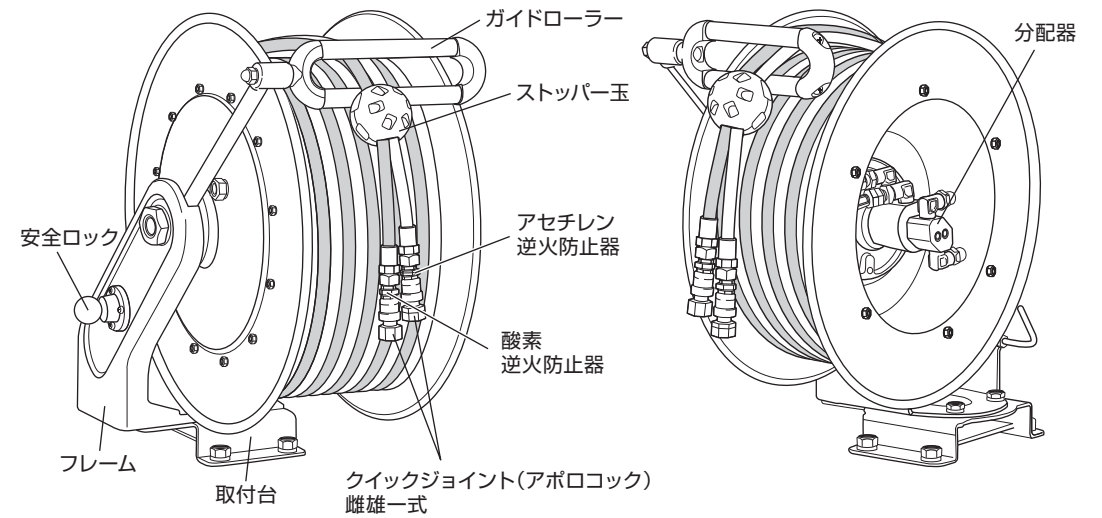
《点検1》各接続部や回転部等ガスの流路は、作業開始時に石けん水等でガス漏れがないことを確認してください。(図1、2参照)



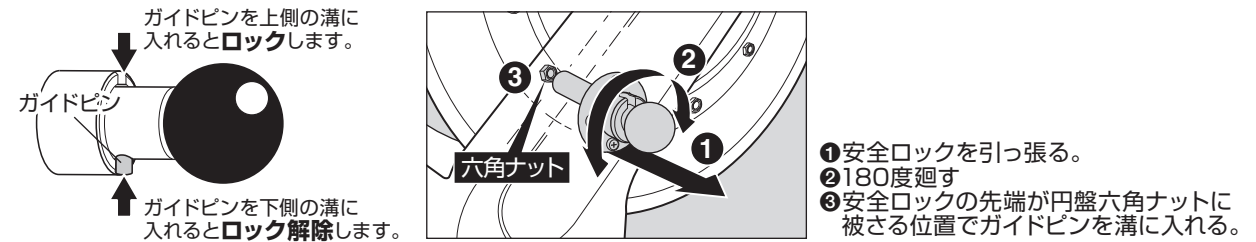
《点検2》ゴムホースは古くなると老化して割れが発生し、ガス漏れを起こす恐れがあるため、定期的に石けん水または水中に入れ、漏れの検査を実施してください。(図3)



【各部名称】

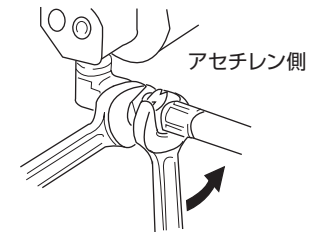


- 安全ロック使用法 急な巻き込み防止やホース・ケーブルの交換時にドラムを固定できます。



【一次側ホースの取付方法】

ホースを取り付ける際は2ヶのスパナを使用し、取付ナット部を固定してジョイント金具のナットを酸素側は右へ、アセチレン側は左へしっかりと締めてください。

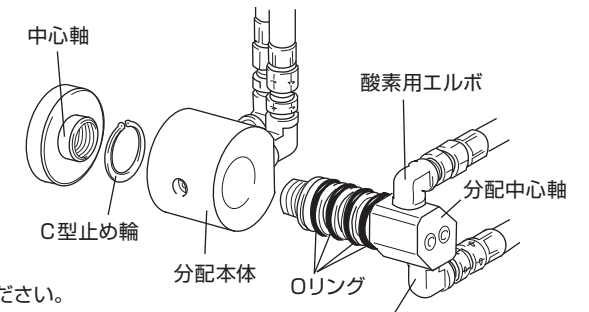



【Oリングの交換方法】

※Oリングよりガスが漏れる場合は、下記要領にてOリング交換を行うか販売店経由にて弊社へ修理にお出しく下さい。

- ①アセチレン用・酸素用ホースを一次側・二次側共に分配器より取り外して下さい。
- ②分配中心軸を回し取り外して下さい。
- ③C型止め輪を外し、分配中心軸を本体より外して下さい。
- ④Oリング(4個)を交換して下さい。
- ⑤Oリング交換後、分配器は内面に傷をつけないように気をつけて取り付けてください。(内面に傷が付くとガス漏れの原因となる事があります。)

※Oリング(P24NBR)グリース(当社指定モリLG-O)をご使用ください。



- 
古いOリングを除去し、中心軸や分配器内に塵埃が付かないように注意してください。中心軸のOリング溝にグリースを塗布してOリングを嵌め再度グリースをOリングに充分に塗布してください。

◆Oリング交換が完了しましたら必ず石けん水等で漏れのないことを確認してください。